

新生児訪問

表1 委託形式

	度数	割合(%)
全面委託	12	(7.6)
部分委託	145	(92.4)
合計	157	(100.0)

表2 委託の方法

	度数	割合(%)
随意(公募型)	7	(4.5)
随意(公募型以外)	150	(95.5)
合計	157	(100.0)

表3 委託先

	度数	割合(%)
1	1	(0.6)
2	1	(0.6)
3	5	(3.2)
3,5	1	(0.6)
3,6,7	1	(0.6)
3,7	2	(1.3)
4	2	(1.3)
5	49	(31.2)
5,6	1	(0.6)
5,7	1	(0.6)
6	3	(1.9)
7	89	(56.7)
無回答	1	(0.6)
合計	157	(100.0)

- 1.公益社団法人
- 2.営利法人
- 3.医療機関(病院・診療所)
- 4.社会福祉法人
- 5.助産師会
- 6.開業保健師
- 7.その他

「その他」を選択した自由記載の例

- ・開業助産師
- ・個人への依頼(助産師、保健師、看護師)

表4 委託を行った理由について、該当する項目すべてに○をつけてください。 n=157

	はい	割合(%)	いいえ	割合(%)
1. 市町村保健師のマンパワーが足りない	135	(86.0)	22	(14.0)
2. 委託したほうが、専門性の高いサービスが期待できる	100	(63.7)	57	(36.3)
3. 経費が節減できる	11	(7.0)	146	(93.0)
4. 民間活力導入の行政方針が示されている	12	(7.6)	145	(92.4)
5. 住民の利便性を高める(曜日や場所)	58	(36.9)	99	(63.1)
6. 市町村の中に専門的にサービスを提供できる人材がない(例えば運動指導等)	10	(6.4)	147	(93.6)
7. その他	5	(3.2)	152	(96.8)

表5 委託を行った理由の「その他」を選択した自由記載の内容

カテゴリ	具体的な記載例
専門職によるサービス	・助産師による授乳指導も可能となる
継続したサービス	・助産師による専門性の高いサービスの提供も行える ・出産した病院からの訪問なので、継続した援助ができる
市町村外でのサービス	・里帰り出産のため町外で過ごしている
地域の資源の活用	・地域に元々、開業助産師の活動の基盤があった。

	法が呂まれていましたか							
18	自治体保健師が直接対応することが必要な対象者の基準を設定し、委託先と合意していましたか	154	79 (51.3)	58 (37.7)	12 (7.8)	5 (3.2)	0 (0.0)	
19	実施内容等に問題がある場合、契約期間中でも委託を中止できる内容になっていましたか	153	65 (42.5)	32 (20.9)	28 (18.3)	16 (10.5)	12 (7.8)	
20	委託先の情報管理や市町村と委託先との情報交換等において、住民の個人情報への配慮は十分なされましたか	153	95 (62.1)	51 (33.3)	4 (2.6)	3 (2.0)	0 (0.0)	
21	委託先と事業の目的を共有できましたか	155	112 (72.3)	41 (26.5)	2 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	
22	委託事業のモニタリングを行う専門職を決めていましたか	154	47 (30.5)	47 (30.5)	36 (23.4)	15 (9.7)	9 (5.8)	
23	委託事業者との調整を行う専門職を決めていましたか	154	97 (63.0)	46 (29.9)	6 (3.9)	4 (2.6)	1 (0.6)	

表7 当該事業の委託の計画の作成や委託先の選定および決定の際のこまりごと(n=137)

	はい	割合(%)	いいえ	割合(%)
1. 地域に委託先が少ない	86	(62.8)	51	(37.2)
2. 仕様書に記載すべき内容や書き方がわからない	10	(7.3)	127	(92.7)
3. 適切な最低入札価格がわからない	22	(16.1)	115	(83.9)
4. 委託先の評価項目や評価方法がわからない	40	(29.2)	97	(70.8)
5. 一般競争入札での選定は困難と主張しても随意契約が認められない	2	(1.5)	135	(98.5)
6. 委託の方法や委託先の選定に保健師の意見が反映されにくい	2	(1.5)	135	(98.5)
7. 自治体内の担当者の利害が相反して意見調整が困難である	1	(0.7)	136	(99.3)
8. その他	8	(5.8)	129	(94.2)

表8 委託の計画の作成や委託先の選定および決定の際の困りごとで「その他」を選択した自治体の自由記載の内容

費用	<ul style="list-style-type: none"> ・1件あたりの委託料は、平成9年度の事業開始から同じである。委託料の値上げ分の予算を確保できない ・毎年、委託料の値上げを要望書として提出され困っている。委託候補が一箇所なので、独占的になってしまう。
委託先の少なさ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に委託できる箇所が少ないため、1つの委託先が不相当と判断した場合次の委託先を見つけることが困難。
委託先の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・委託先の助産師のマンパワーが足りない

表9 委託を実施している際の困りごと(n=137)

	はい	割合(%)	いいえ	割合(%)
1. 委託事業者が提供する保健サービスの実施状況を把握することが難しい	16	(11.7)	121	(88.3)
2. 期待するサービスの提供を委託事業者が行ってくれない	9	(6.6)	128	(93.4)
3. 期待する連携を委託事業者が行ってくれない	6	(4.4)	131	(95.6)
4. 問題がある委託事業者であっても、契約期間中に委託を中止出来ない	6	(4.4)	131	(95.6)
5. その他	24	(17.5)	113	(82.5)

表10 委託を実施している際の困りごとで「その他」を選択した自治体の自由記載の内容

サービスの質	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の力量に差がある(指導内容) ・サービス提供内容が統一されていない ・安易な継続訪問による予算増加の時期があった ・個人情報保護 ・スタッフ側との申し合わせ内容を対象者に不適切に伝えた
サービスの提供量	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が希望する時期にサービスが提供できないことがあった
委託先の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・委託先のキャパシティに限界があり、対象者が多い時には実施できない時がある ・委託先のマンパワー不足を感じることもある ・委託事業者内でトラブルがあり、今後の委託内容について調整が必要 ・個人へ委託しているため、体調不良、その他の都合で従事できない時の対応

表11 委託することによって自治体保健師に生じる問題(n=138)

	はい	割合(%)	いいえ	割合(%)
1. 自治体保健師に集まる地域の情報が少なくなる	18	(13.0)	120	(87.0)
2. 自治体保健師の実務能力が低下する/若手が育たない	41	(29.7)	97	(70.3)
3. 住民と直接、接する場が少なくなる	45	(32.6)	93	(67.4)
4. 委託先との調整に時間がかかる	37	(26.8)	101	(73.2)
5. 委託先の教育に労力を要する	19	(13.8)	119	(86.2)
6. その他	9	(6.5)	129	(93.5)

表12 委託を実施することで自治体保健師に生じる問題で「その他」を選択した自治体の自由記載の内容

トラブル対応	<ul style="list-style-type: none"> ・件数は多くはないが、委託者の対応への苦情(内容・訪問時間の遅れ等)や個人情報の管理の点で労力を要することがある。
--------	---